

泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202

古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人 黒松内つくし園
泊村老人ホーム むつみ荘
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊
編集発行 むつみ荘広報委員会

職員募集!!!

～老人ホームと一緒に働きませんか?～

むつみ荘では、支援員・介護員・看護師を募集しております。施設の仕事に興味ある方は、是非ご応募ください。一緒に働いてくれる方をお待ちしております。

●勤務時間●

・シフト制(パート勤務可) ※特に、夜間勤務可能な方大歓迎!

●資格●

【支援員・介護員】

・介護福祉士、ホームヘルパー2級以上 等
※資格がなくても可(応相談)

【看護師】

・正看護師・准看護師

<連絡先>

0135-65-2255



宜しくお願ひします!

～技能実習生として来日した職員紹介～



2月にベトナム人技能実習生の2期生として特養おだやかユニットで勤務しているダンティ・フエン・チャンさんにお話を聞きました。

Q1. 自己紹介をお願いします。

チャン: ダンティ・フエン・チャンと申します。ベトナム出身の20歳です。

Q2. 家族構成を教えてください。

チャン: 両親と弟2人と祖母の6人家族です。

Q3. なぜ日本に来ようと思ったのですか?

チャン: 日本は大好きな国で、日本の文化や歴史も好きだったからです。祖母と8歳から2人で暮らしていたので、その経験から介護の仕事がしたいと思い、日本に介護の勉強をしに来ました。将来は介護士になりたいです。

Q4. 日本語は難しくありませんか?

チャン: 漢字が難しいです。ベトナムでも少し日本語の勉強をしてきましたが



今、猛勉強中です。

Q5. 日本でやりたいことはありますか?

チャン: 日本人の友達をたくさん作りたいです。今はまず日本語の試験に合格したいです。

Q6. 日本のどんなところが好きですか?

チャン: 日本の美しい景色や日本の文化、歴史が好きで、着物も好きです。

Q7. 日本で一番、美味しかった食べ物は?

チャン: 日本のラーメンは、すごく美味しく大好きです。

Q8. 泊村の印象は?

チャン: 海や山も綺麗! 温泉も好きで、入ったら気持ちよかったです。

Q9. 頑張りたいことはなんですか?

チャン: 排泄介助・入浴介助・食事介助を手伝っているので、しっかり覚えたいです。これからも、よろしくお願いします。



備えあれば憂いなし

3月30日、例年は利用者の誘導訓練や職員の消火模擬訓練を日中と夜間を想定し年2回行っていましたが、コロナウイルス感染



予防のため泊消防署と協議し、実際に誘導等

行わない机上訓練を行うよう指導を受け、初めて机上での訓練実施となりました。実際の誘導にかかる時間などを想定しながら、訓練を行い無事に終わることができました。いつ起こりうるか分からない災害に備えることが出来るよう再確認することができました。



端午の節句 ～勇まじい姿の五月人形～



4月に入りいたるところに、こいのぼりがなびき始めた頃、むつみ荘でも端午の節句に合わせて五月人形を玄関ホールや各階のエレベーターホール等に飾りました。五月人形を見た利用者か

らは「立派な鎧兜だねえ」「年代によって顔つきが違うんだね」「私たちの若いときはどこの家でも外に大きな鯉のぼりを飾ったもんだけど、今は外に飾る家も少なくなったもんね。こんなに大きな五月人形も見かけなくなったね」と話されていました。子供たちが小さかった頃の心温まる懐かしいエピソードや、お孫さん達のことを思い出しながら楽しそうに話されていました。



命の息吹を感じる春の訪れ

暖かさが感じられる4月上旬、施設周辺に自生しているシロ(あさつき)を職員数名で採りに出掛けました。今年は大収穫で、収穫後は利用者にバトンタッチし下処理をしてもらいました。作業をする表情は真剣で、みなさん慣れた手つきで素早く進めていました。作業をしながら「酢味噌和えにすると美味

しいんだよ」「卵とじもいいね」と食べ方を相談する声や、「家の近くにも採れるところがあったんだよ」と昔を懐かしむ声も聞かれました。シロは、お浸しや酢味噌和え、卵とじにして食べました。利用者は今時期しか食べられない春の味を堪能し「初物を食べられて縁起がいいね」



「これでまた長生きができる」と嬉しそうに話されていました。次は竹の子を収穫して利用者に喜んでもらう予定です。



★面会等についてのお願い★

道内で新型コロナウイルスの感染が拡大し感染予防対策が強化されたことに伴い、現在当施設では入居者様への面会並びに外出・外泊を禁止とさせていただきます。尚、緊急を要する場合の面会については、職員にその旨お伝えください。面会の際は、検温を行い37.5℃以

下の方に限りマスクの着用+手指消毒の上面会とさせていただきます。荷物等については、今迄通り事務にてお預かりさせていただきます。感染症拡大防止にご理解ご協力を宜しくご協力ください。お願いいたします。

感染症拡大防止にご協力ください



施設長雑感

桜前線の到来とともに、春の柔らかな日差しが顕著に感じられる季節となりました。例年5月はGWを迎え、故郷への帰省をはじめ花見や行楽地への旅行など、“ひと”や“もの”の移動が大きくなります。また期間中は、日頃のストレス解消など心身のリフレッシュが促され、さらには観光業や飲食業などの経済活動が活性化し、日本全体が賑わうこととなります。しかしながら、未だに「コロナウイルス感染症」のまん延は継続中であり、とりわけ、最近では「変異ウイルス株」の割合が高まり、感染者数が増大する中、患者用病床の逼迫などから、4都府県において再び緊急事態が宣言されました。道内においても札幌市を中心に感染者数が再び三桁に上昇し、札幌市内の病床は満床状態に陥っており、本年も昨年同様GW期間中における不要不急の外出や旅行、多数での会食などの自粛が強く求められております。一方で、本年2月か

ら「まん延防止」の切り札とされる「ワクチン接種」が医療従事者を対象に始まり、さらに今月からは高齢者を対象として実施されることとなっております。本施設においても、現在、その実施に向け、具体的な接種の手順や方法などについて、泊村役場や茅沼診療所等の関係機関と協議を重ねているところであり、ワクチンの接種が円滑に行われますよう、努めていくこととしております。終わりになりますが、本施設といたしましては、引き続き、三密の回避や手指等の消毒、ソーシャルディスタンスの確保等、コロナ感染症予防対策に万全を期すなど、利用者様及びご家族の皆様が、安心して当施設での生活を続けていくことができますよう、鋭意努力いたしますとともに、関係者の皆様におかれましては、何かとご不自由な状況が続く、誠に恐縮ではございますが、今後ともご理解並びにご協力のほどお願いいたします。



泊村老人ホームむつみ荘
施設長 高橋 英俊